

坂東市体育施設長寿命化計画 (個別施設)

令和4年3月
坂東市

坂東市体育施設長寿命化計画（個別施設） 目次

第1章 概要	1
1.1 背景・目的	1
1.2 計画の位置付け	1
1.3 対象施設	2
1.4 計画期間	3
第2章 施設の基本情報及び現況評価	4
2.1 基本情報の把握	4
2.2 健全度調査（調査票の作成）	6
2.3 調査期間	7
2.4 健全度・緊急度の判定	8
2.5 経済性に係る基礎情報	12
第3章 個別施設の方向性に関する検討	16
3.1 施設の方向性の検討（1次評価）	16
3.2 施設的环境に関する情報の整理	18
3.3 施設の基本方針の検討（2次評価）	19
第4章 長寿命化計画の検討と策定	22
4.1 基本方針の設定	22
4.2 体育施設の長寿命化対策の検討	27
第5章 体育施設個別計画	33

第1章 概要

1.1 背景・目的

我が国においては、近年、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。また、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されています。このことから、公共施設等の現状を把握し、長期的な視点を持って長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。こうした状況を踏まえ、坂東市（以下「本市」という。）では、公共施設等の長寿命化や効果的かつ効率的な整備と管理運営の方針を示した「坂東市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を平成 29 年 3 月に策定しました。

また、体育施設においては、スポーツ庁から「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）が平成 30 年 3 月に示されており、本市においても、ガイドラインに基づくスポーツ施設の適正管理が求められています。

「坂東市体育施設長寿命化計画（個別施設）」（以下「本計画」という。）は、「総合管理計画」や「ガイドライン」に基づき、体育施設の現状把握・分析に基づく今後の維持保全の方向性を検討するとともに、現地調査による劣化診断・施設評価を行い、ライフサイクルコスト及び保全優先度を勘案した長寿命化計画を策定することを目的とします。

1.2 計画の位置付け

本計画は、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として策定された「総合管理計画」の個別施設計画として位置付けることとします。

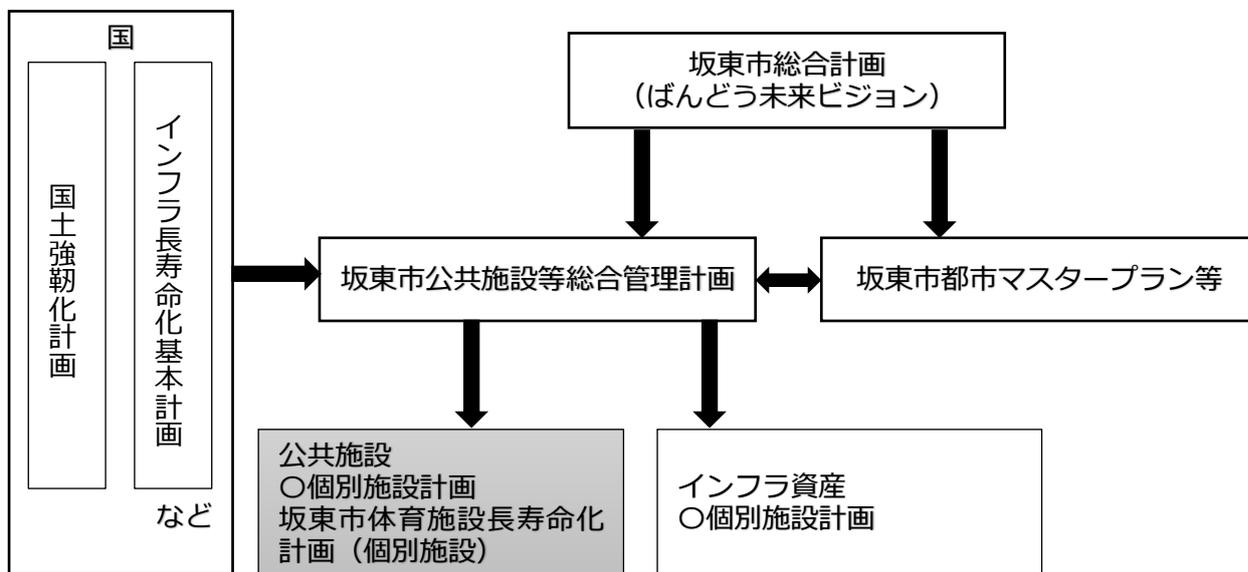


図 計画の位置付け

1.3 対象施設

以下に、本計画の対象施設を示します。

表 本計画の対象施設

No.	施設名称	所在地	施設・敷地・建物面積	収容人数
1	総合体育館 S56.12 完成	坂東市岩井 3086 番地	体育館 敷地 13,325 m ² 建物 4,273 m ² 1F 3,238 m ² 2F 1,035 m ²	4,000 人
			(1)卓球場 240 m ²	
			(2)武道場 300 m ² ・剣道場 ・柔道場	
			(3)トレーニング室	
2	岩井球場 S58.6 完成	坂東市鶴戸 255 番地	野球場 敷地 16,500 m ² 建物 1,500 m ²	7,000 人
3	岩井テニスコート S59.2 完成	坂東市鶴戸 268 番地	テニスコート 6 面 敷地 4,767 m ²	
4	宝堀運動公園 S60.6 完成	坂東市神田山 2137 番地 1	野球場 2 面 敷地 15,700 m ²	
5	馬立運動公園 S60.10 完成	坂東市馬立 1185 番地	ソフトボール球場 敷地 7,850 m ²	
6	猿島体育館 S55.12 完成	坂東市山 2724 番地	体育館 敷地 7,178 m ² 建物 2,091 m ²	1,000 人
7	猿島武道館 S62.2 完成	坂東市山 2724 番地	武道館 敷地 2,100 m ² 建物 706 m ² ・柔道場 ・剣道場	
8	猿島球場 S58.4 完成	坂東市生子新田 804 番地	野球場 2 面 敷地 26,014 m ²	
9	生子運動公園 H4.4 完成	坂東市生子新田 884 番地 1	1 野球場 敷地 29,563 m ²	
			2 ャカ-場	
			3 テニスコート 3 面	
10	内野山運動公園 H5.3 完成	坂東市内野山 854 番地 1	野球場 敷地 20,800 m ²	
11	沓掛球場 S48.10 完成	坂東市沓掛 6083 番地	野球場 敷地 9,630 m ²	

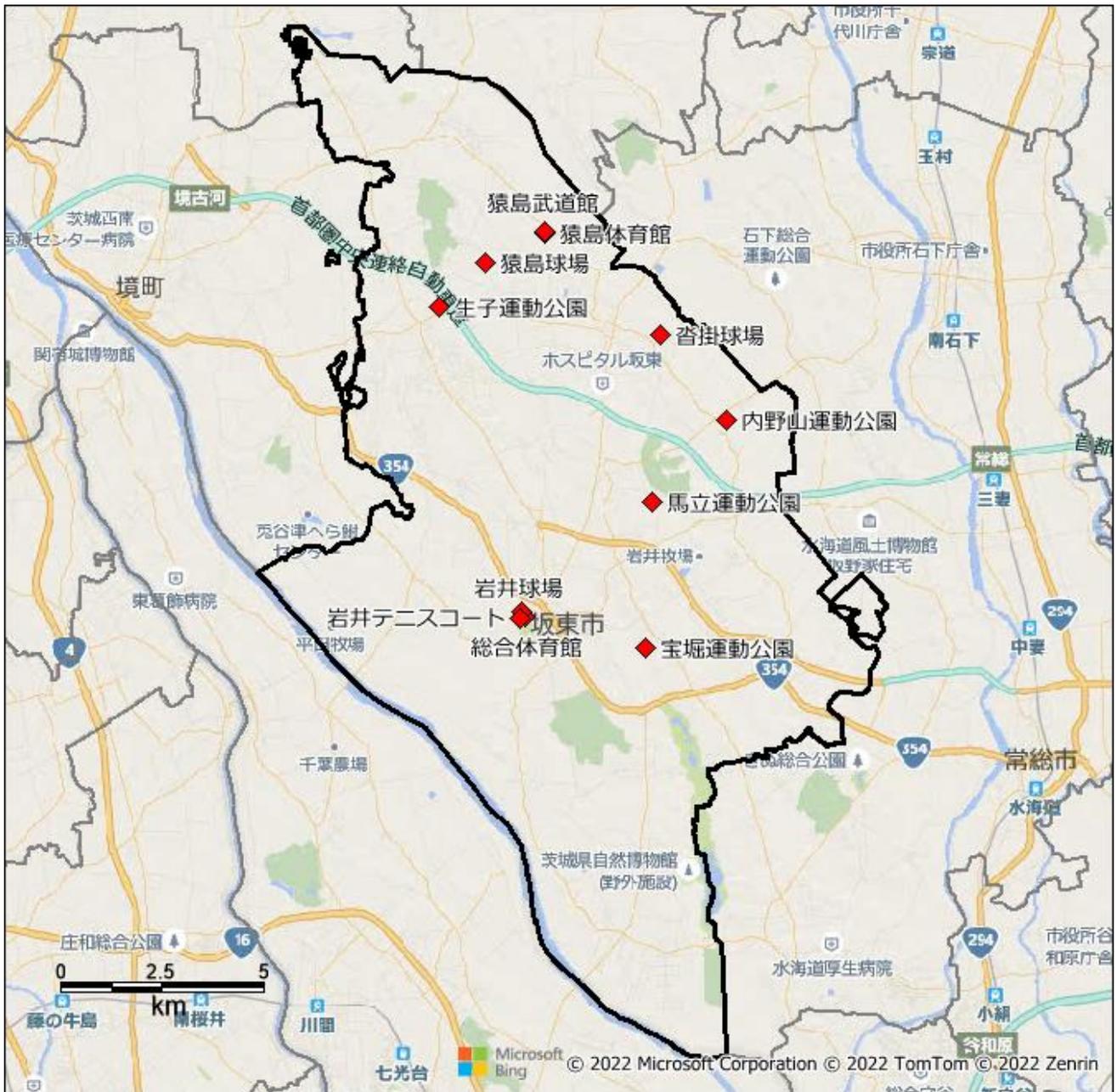


図 対象施設の分布図

1.4 計画期間

総合管理計画の計画期間が 2056 年度までとなっているため、本計画の計画期間は、これに合わせて、2022 年度から 2056 年度までの 35 年間とします。ただし、今後の上位・関連計画の見直しや社会情勢の変化などの状況に応じて、適宜見直しを行うものとします。

第2章 施設の基本情報及び現況評価

2.1 基本情報の把握

以下に、本計画の対象施設の基本情報を示します。

表 計画対象施設の基本情報（1）

No.	施設名称	施設種別	所在地	建築年月	経過年数	延べ床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	階数(地上)	運営方法	防災計画上の位置付け
1	総合体育館	体育館	岩井 3086 番地	S56.12	40 年	4,273	13,325	2	直営	◎
2	岩井球場	野球場	鶴戸 255 番地	S58.6	38 年	1,500	16,500	1	直営	◎
3	岩井テニスコート	庭球場	鶴戸 268 番地	S59.2	37 年	—	4,767	—	直営	—
4	宝堀運動公園	野球場	神山山 2137 番地 1	S60.6	36 年	—	15,700	—	直営	—
5	馬立運動公園	ソフトボール球場	馬立 1185 番地	S60.10	36 年	—	7,850	—	直営	○
6	猿島体育館	体育館	山 2724 番地	S55.12	41 年	2,091	7,178	2	直営	◎
7	猿島武道館	武道場	山 2724 番地	S62.2	34 年	706	2,100	1	直営	◎
8	猿島球場	野球場(A面)	生子新田 804 番地	S58.4	38 年	—	26,014	—	直営	○
		野球場(B面)								
9	生子運動公園	野球場	生子新田 884 番地 1	H4.4	29 年	—	29,563	—	直営	○
		サッカー場								
		庭球場								
10	内野山運動公園	野球場	内野山 854 番地 1	H5.3	28 年	—	20,800	—	直営	○
11	沓掛球場	野球場	沓掛 6083 番地	S48.10	48 年	—	9,630	—	直営	○

◎避難所及び避難場所、○避難場所

表 計画対象施設の基本情報（2）

No.	施設名称	施設種別	構造	耐震基準	耐震診断の有無	耐震改修の必要性	耐震改修	備考・改修履歴
1	総合体育館	体育館	鉄筋コンクリート造 (屋根：鉄骨造)	旧耐震基準	H25	あり	H28	H28 年度耐震補強・大規模改修工事
2	岩井球場	野球場	鉄筋コンクリート造					
3	岩井テニスコート	庭球場	—					
4	宝堀運動公園	野球場	—					
5	馬立運動公園	ソフトボール球場	—					
6	猿島体育館	体育館	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	旧耐震基準	H25	あり	R1	R1 年度耐震補強・大規模改修工事
8	猿島球場	野球場(A面)	—					
		野球場(B面)						
9	生子運動公園	野球場	—					
		サッカー場						
		庭球場						
10	内野山運動公園	野球場	—					
11	沓掛球場	野球場	—					

表 計画対象施設の基本情報 (3)

No.	施設名称	施設種別	競技数量及び附帯施設の有無																		
			野球(面)	テニス(面)	ソフトボール(面)	サッカー(面)	バスケットボール(面)	バレーボール(面)	ハンドボール(面)	バドミントン(面)	卓球(台)	武道場(面)	トレーニング室(面)	観客席	バックネット(基)	スコアボード(基)	照明(基)	防球フェンス	屋外トイレ	屋外倉庫	
1	総合体育館	体育館					2	3	1	6	10	2	1	●							
2	岩井球場	野球場	1											●	1	1	4	●			
3	岩井テニスコート	庭球場		6													8	●	●		
4	宝堀運動公園	野球場	2												2			●	●	●	
5	馬立運動公園	ソフトボール球場			1										1			●	●	●	
6	猿島体育館	体育館					2	3		6											
7	猿島武道館	武道場										3									
8	猿島球場	野球場(A面)	1											●	1		6	●	●	●	
		野球場(B面)	1													1		4	●	●	●
9	生子運動公園	野球場	1												1				●	●	●
		サッカー場				1													●	●	●
		庭球場		3														12			
10	内野山運動公園	野球場	1															●	●	●	
11	沓掛球場	野球場	1												1			●	●	●	

表 施設の整備目的と開催可能な大会基準

No.	施設名称	施設種別	施設の整備目的		開催可能な大会基準			
			一定規模以上の大会等を開催する施設	地域住民が日頃の運動のために利用する施設	全国大会	地方大会	中高の大会	左記以外
1	総合体育館	体育館	○	—	○	○	○	—
		卓球場	—	○	—	—	—	○
		武道場	—	○	—	—	—	○
		トレーニング室	—	○	—	—	—	○
2	岩井球場	野球場	○	—	○	○	○	—
3	岩井テニスコート	庭球場	○	—	—	○	○	—
4	宝堀運動公園	野球場	○	—	—	○	○	—
5	馬立運動公園	ソフトボール球場	—	○	—	—	—	○
6	猿島体育館	体育館	○	—	—	○	○	—
7	猿島武道館	武道場	—	○	—	—	○	—
8	猿島球場	野球場	○	—	—	○	○	—
9	生子運動公園	野球場	—	○	—	—	—	○
		サッカー場	○	—	—	○	○	—
		庭球場	—	○	—	—	—	○
10	内野山運動公園	野球場	—	○	—	—	—	○
11	沓掛球場	野球場	—	○	—	—	—	○

2.2 健全度調査（調査票の作成）

調査票は、「運動公園／野球・ソフトボール場」「体育館・武道館」「野球場」「テニスコート」別にそれぞれ調査票を作成しました。以下に、例として「運動公園／野球・ソフトボール場」の調査票を示します。

健全度調査票(運動公園／野球・ソフトボール場)

施設名		点検日	
所在地		点検者	

屋外施設の状況				
点検部位	点検項目	評価	健全度	写真番号
グラウンド	芝の状態に問題はないか			
	排水施設(排水性等)に問題はないか			
	給水施設(散水栓等)に問題はないか			
防球ネット	支柱に損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
	コンクリート基礎に著しいひび割れ、破損はないか			
	金物類に損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
	ネットに損傷等はないか			
バックネット	支柱に損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
	コンクリート基礎に著しいひび割れ、破損等はないか			
	ネットに損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
スコアボード	本体に損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
照明施設	支柱に損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
	コンクリート基礎に著しいひび割れ、破損等はないか			
	照明器具の点灯は正常か又は破損等はないか			
	照明器具はLED化されているか			
東屋	損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
トイレ	損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
倉庫	損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
フェンス	損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
ダッグアウト	損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
ベンチ	損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
遊具	損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
その他施設	損傷、腐食、塗装の劣化等はないか			
コンセント・スイッチ	コンセント、スイッチ、プレート等に損傷、変形、腐食等はないか			
受変電設備	キャビネット外板に損傷、変形、腐食等はないか又は異音、異臭はないか			
分電盤・制御盤	損傷、変形、腐食等はないか又は異音、振動等はないか			
電気配線	ボックス類及び支持金物等に損傷、腐食等はないか			
給水配管・排水配管	漏水、腐食はないか又は吐水状況は良好か、錆は混じっていないか			
施設の安全対策				
点検部位	点検項目	評価	健全度	写真番号
グラウンド	平坦性に問題はないか			
その他設備	AEDは設置されているか			

2.3 調査期間

調査は、以下に示すように、2021年9月15日から2021年9月28日までの間で実施しました。

表 現地調査の実施日

No.	施設名称	施設種別	調査実施日
1	総合体育館	体育館	2021/9/15
2	岩井球場	野球場	2021/9/15
3	岩井テニスコート	庭球場	2021/9/15
4	宝堀運動公園	野球場	2021/9/16
5	馬立運動公園	ソフトボール球場	2021/9/16
6	猿島体育館	体育館	2021/9/27
7	猿島武道館	武道場	2021/9/27
8	猿島球場	野球場(A面)	2021/9/27
		野球場(B面)	2021/9/27
9	生子運動公園	野球場	2021/9/28
		サッカー場	2021/9/28
		庭球場	2021/9/28
10	内野山運動公園	野球場	2021/9/16
11	沓掛球場	野球場	2021/9/28

2.4 健全度・緊急度の判定

(1) 健全度の判定方法（建築物がある場合）

点検評価基準により点検項目ごとに A、B、C 及び D の 4 段階評価を行った上で、A を 100 点、B を 75 点、C を 40 点、D を 10 点とし、100 点満点で数値化した健全度という評価指標を算定しました。健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示しています。

●点検評価基準

	評 価	基 準
	A	おおむね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体（くたい）の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を来してる）等

出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

●健全度の判定基準

部 位	基 準
屋上・屋根	A判定：点検項目別評価の 75%以上がA評価の場合 B判定：点検項目別評価の 75%以上がB評価の場合 C判定：点検項目別評価の 75%以上がC評価の場合 D判定：点検項目別評価の 75%以上がD評価の場合
建築物 の外部	なお、A～Dのいずれもが 75%を超えない場合は、総合的に判断する。 ・「屋上・屋根」について、「内部仕上げ」のうち、天井に雨漏り跡が 5 か所以上ある場合はC判定とし、10 か所以上ある場合はD判定とする。 ・「建築物の外部」について、「内部仕上げ」のうち、壁に雨漏り跡が 5 か所以上ある場合はC判定とし、10 か所以上ある場合はD判定とする。
建築物 の内部	・経過年数による評価を基本とする。 ただし、改修工事を行っている場合、実施年度を基準とし、経過年数で評価する。経過年数による評価を超える劣化事象が見られた場合は、総合的に判断する。 A判定：経過年数 20 年未満 B判定：経過年数 20 年以上 40 年未満 C判定：経過年数 40 年以上 D判定：経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合
電気設備 機械設備	・経過年数による評価を基本とする（「建築物の内部」と同様）。 ・ただし、経過年数による評価を超える劣化事象が見られた場合は、総合的に判断する。

部 位	基 準
機能性(その他)	A判定:点検項目別評価の75%以上がA評価となった場合 B判定:点検項目別評価の75%以上がB評価となった場合
屋外スポーツ 施設の状況	C判定:点検項目別評価の75%以上がC評価となった場合 D判定:点検項目別評価の75%以上がD評価となった場合
施設の安全対策	なお、A～Dのいずれもが75%を超えない場合は、総合的に判断する。 ・「機能性(その他)」について、LED未転換の照明器具がある場合はC判定とする。 ・「施設の安全対策」について、AED未設置の場合はC判定とする。

※「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を参考に作成

◆健全度の算定

●部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

●部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60

●健全度

$$\text{健全度} = \text{総和（部位の評価点} \times \text{コスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計で割っています。

(2) 施設の総合評価（建築物がある場合）

健全度（建築物）の点数及び「機能性（その他）」「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度により、以下の基準に基づき施設の総合評価を行いました。

●施設の総合評価基準（建築物がある場合）

評価	基 準
I	「健全度(建築物)」が75点以上かつ「機能性(その他)」「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度がA又はB判定の場合
II	「健全度(建築物)」が75点以上かつ「機能性(その他)」「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度のいずれかにC判定がある場合
III	「健全度(建築物)」が40点以上75点未満又は「機能性(その他)」「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度の全てがC判定となった場合
IV	「健全度(建築物)」が40点未満又は「機能性(その他)」「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度のいずれかにD判定がある場合

(3) 健全度の判定方法（建築物がない場合）

点検評価基準により、点検項目ごとに A、B、C 及び D の 4 段階評価を行い、「屋外施設の状況」「施設の安全性対策」の健全度を総合的に評価しました。

(4) 施設の総合評価（建築物がない場合）

「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度により、以下の基準に基づき施設の総合評価を行いました。

●施設の総合評価基準（建築物がない場合）

評価	基準
I	「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度がA又はB判定の場合
II	「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度にC判定がある場合
III	「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度の全てがC判定の場合
IV	「屋外施設の状況」「施設の安全対策」の健全度にD判定がある場合

(5) 施設の緊急度判定

施設の総合評価により、以下の基準に基づき施設の緊急度の判定を行いました。

●緊急度判定

緊急度	基準
低	「施設の総合評価」が「I」又は「II」
中	「施設の総合評価」が「III」
高	「施設の総合評価」が「IV」

(6) 各施設の健全度調査結果

以下に、健全度調査の結果を示します。

施設名称	施設種別	築年数	安全性・機能性（建築物）						機能性（その他）	屋外施設 の状況	施設の 安全対策	施設の 総合評価	緊急度 ランク
			屋上・屋根	建築物の外部	建築物の内部	電気設備	機械設備	健全度					
総合体育館	体育館	40年	B	A	B	C	C	73	C	—	B	Ⅲ	中
岩井球場	野球場	38年	B	C	C	B	D	44	C	C	C	Ⅲ	中
岩井テニスコート (メイ)	庭球場	37年	—	—	—	—	—	—	—	C	C	Ⅲ	中
岩井テニスコート (サブ)	庭球場	37年	—	—	—	—	—	—	—	C	C	Ⅲ	中
宝堀運動公園 (グラウンド A)	野球場	36年	—	—	—	—	—	—	—	B	C	Ⅱ	低
宝堀運動公園 (グラウンド B)	野球場	36年	—	—	—	—	—	—	—	B	C	Ⅱ	低
馬立運動公園	ソフトボール 球場	36年	—	—	—	—	—	—	—	B	C	Ⅱ	低
猿島体育館	体育館	41年	B	B	B	C	C	66	C	—	A	Ⅲ	中
猿島武道館	体育館	34年	B	B	C	B	B	62	C	—	C	Ⅲ	中
猿島球場 (A面)	野球場	38年	—	—	—	—	—	—	—	B	C	Ⅱ	低
猿島球場 (B面)	野球場	38年	—	—	—	—	—	—	—	C	C	Ⅲ	中
生子運動公園	野球場・サ カ場	29年	—	—	—	—	—	—	—	C	C	Ⅲ	中
	庭球場	29年	—	—	—	—	—	—	—	C	C	Ⅲ	中
内野山運動公園	野球場	28年	—	—	—	—	—	—	—	B	C	Ⅱ	低
沓掛球場	野球場	48年	—	—	—	—	—	—	—	C	C	Ⅲ	中

2.5 経済性に係る基礎情報

(1) 利用者数の推移

各施設の利用者は、全体的に横ばい又は減少傾向にあります。このような中、猿島球場は増加傾向にあります。

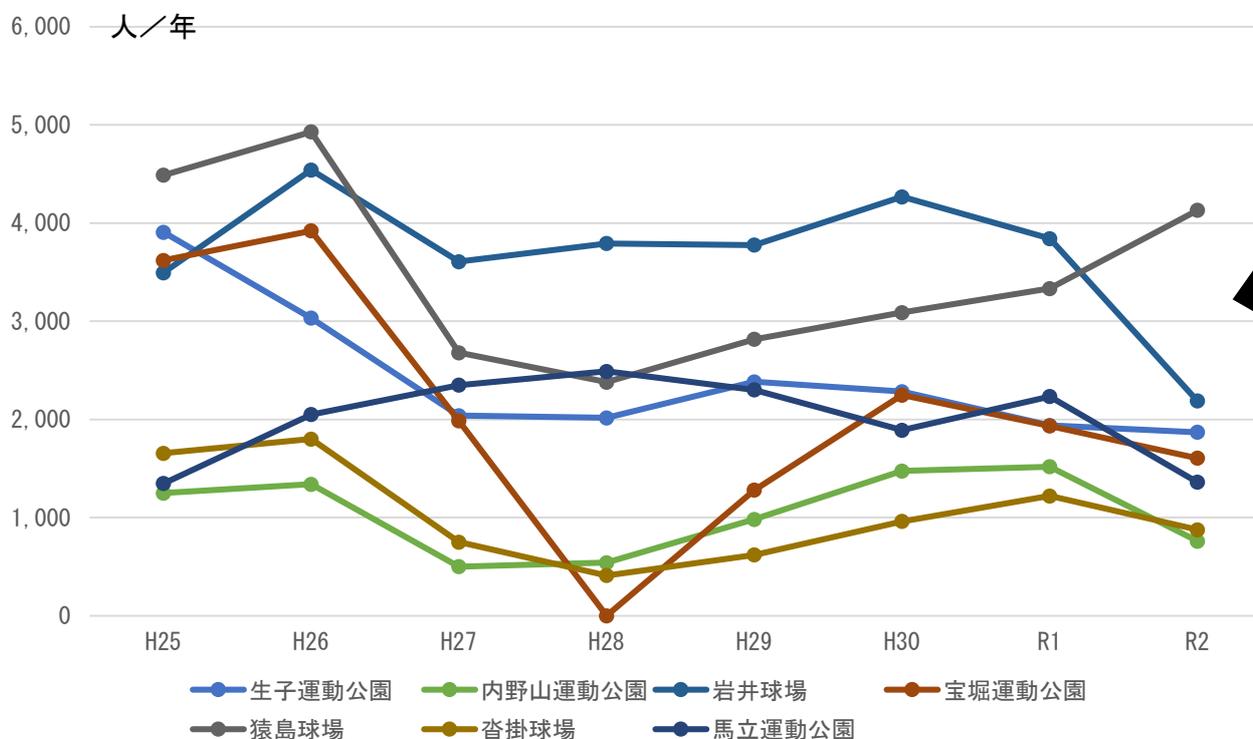
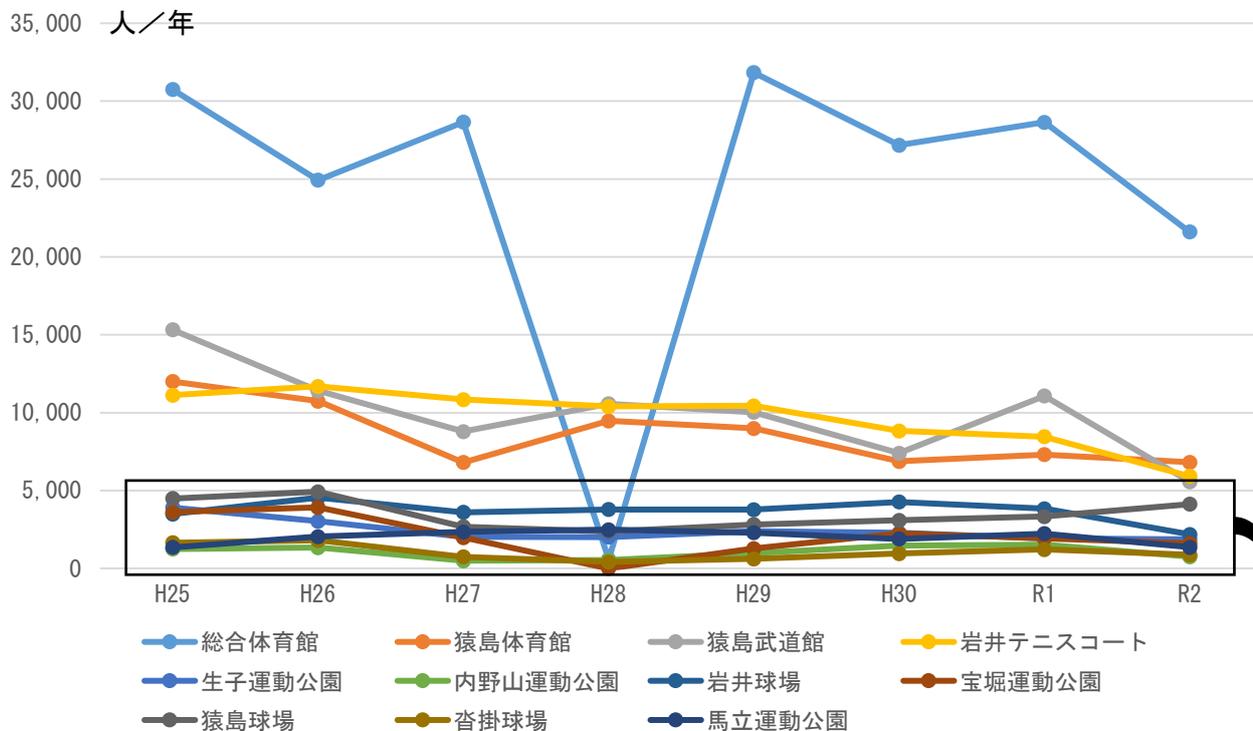


図 利用者数の推移

<参考> 各施設の利用者数の内訳

a. 総合体育館

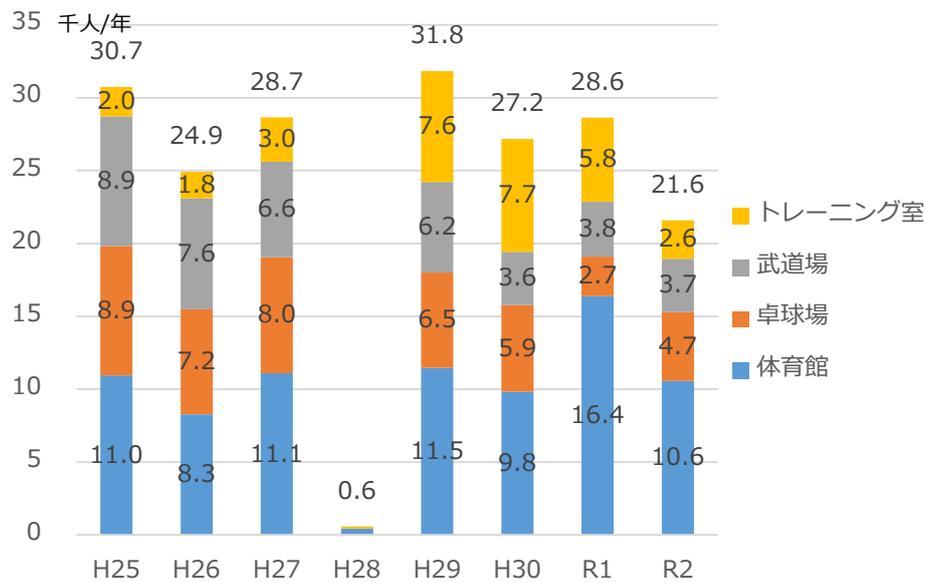


図 総合体育館の利用者の推移

b. 生子運動公園

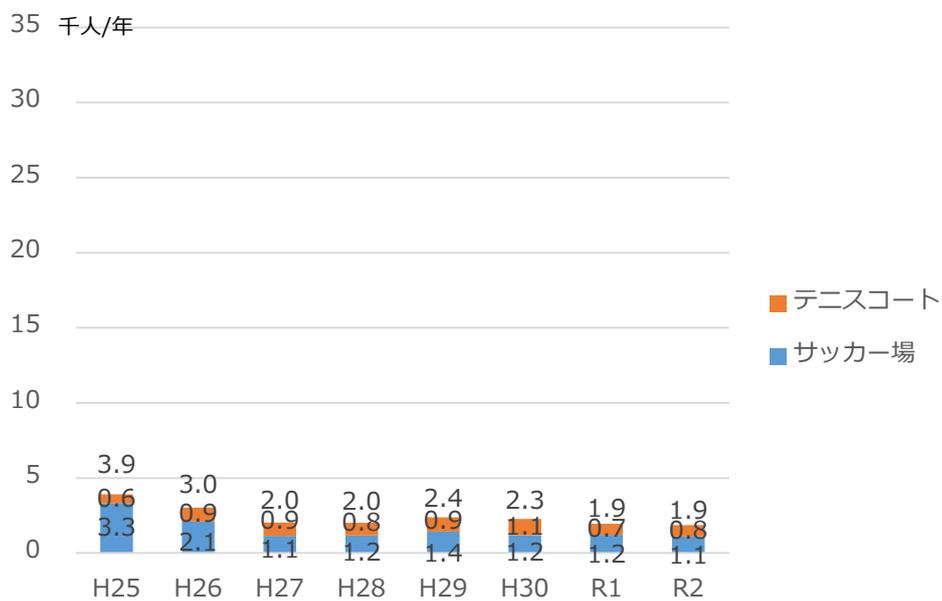
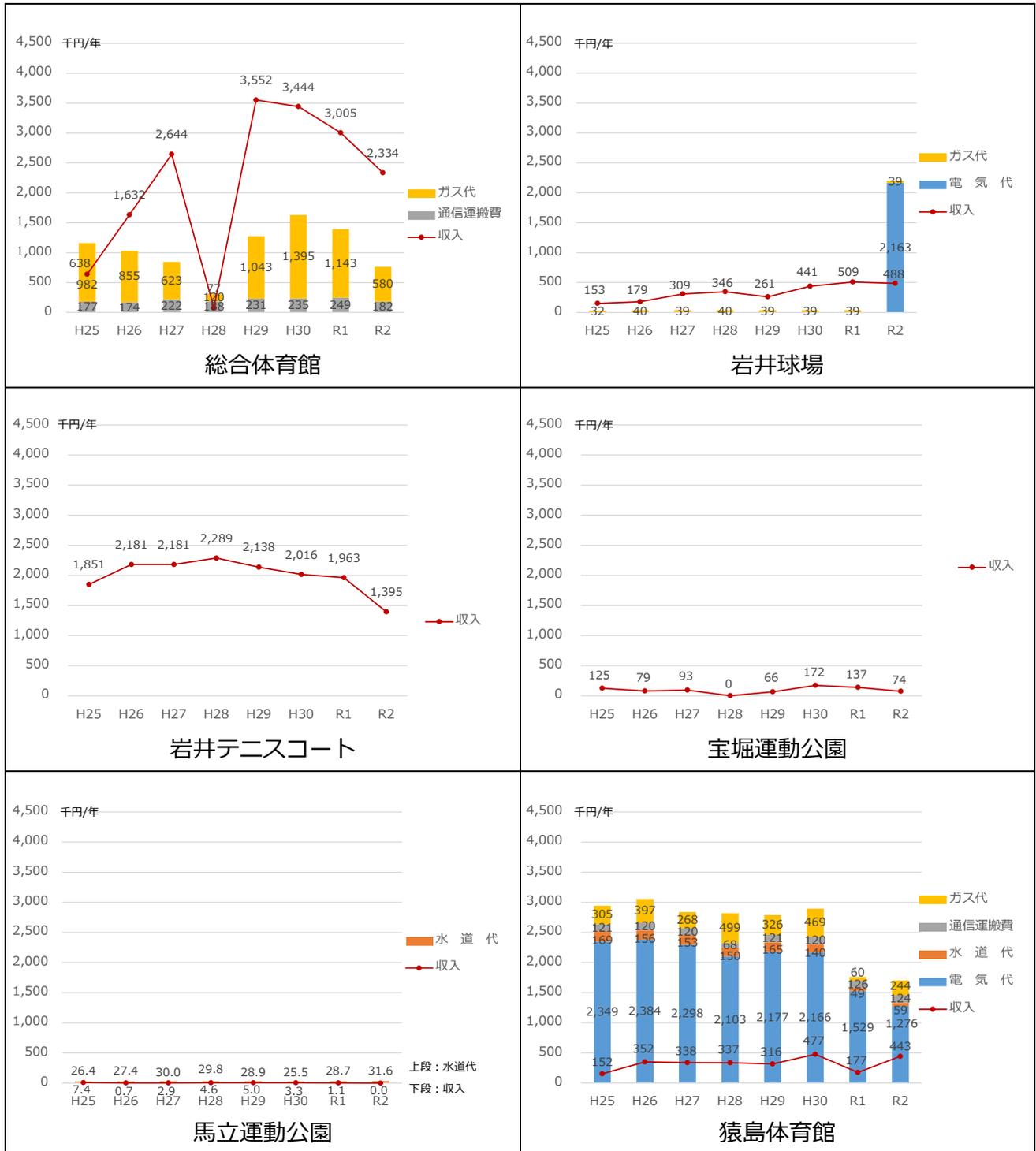
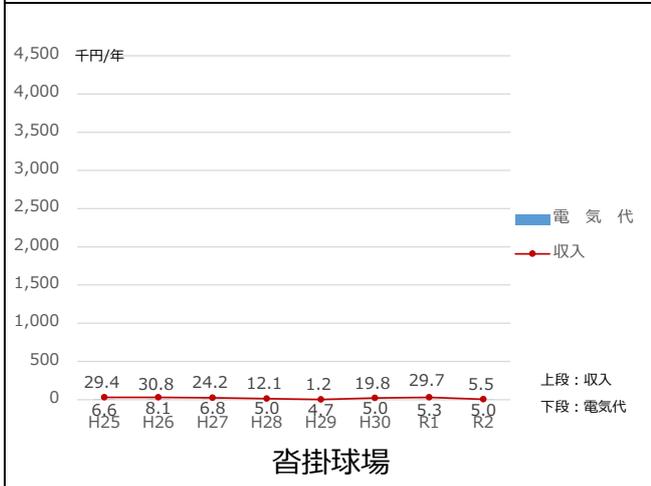
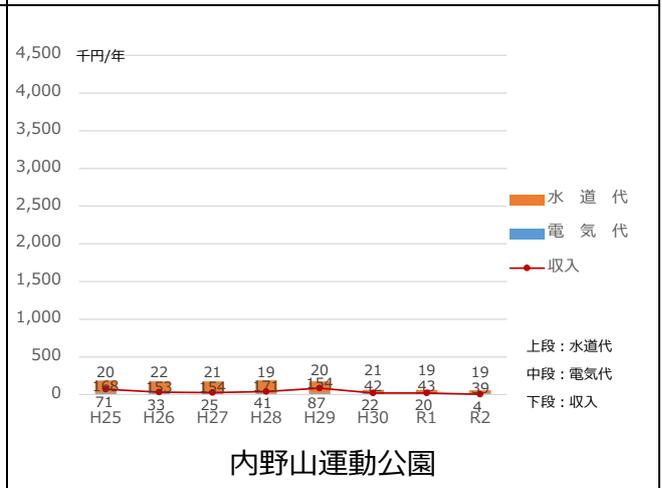
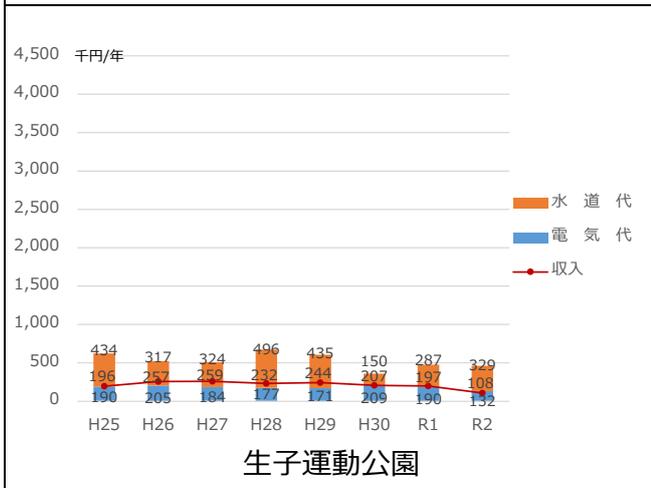
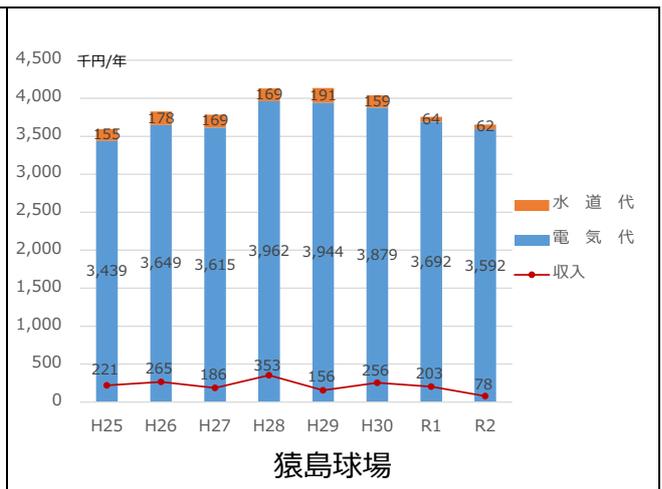
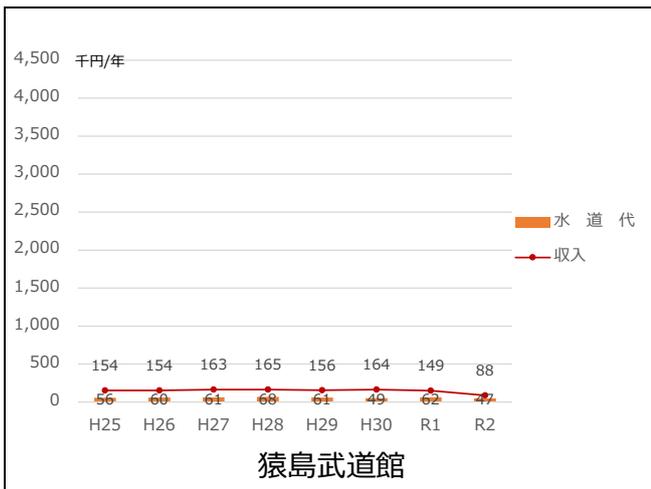


図 生子運動公園の利用者の推移

(2) 収入と経費

以下に、各施設の収入と経費の変化を示します。なお、経費に関しては、一部データがないため、グラフ内に欠損しているものもあります。収入に着目してみると、馬立運動公園、内野山運動公園、沓掛球場の収入は相対的に少ない状況です。



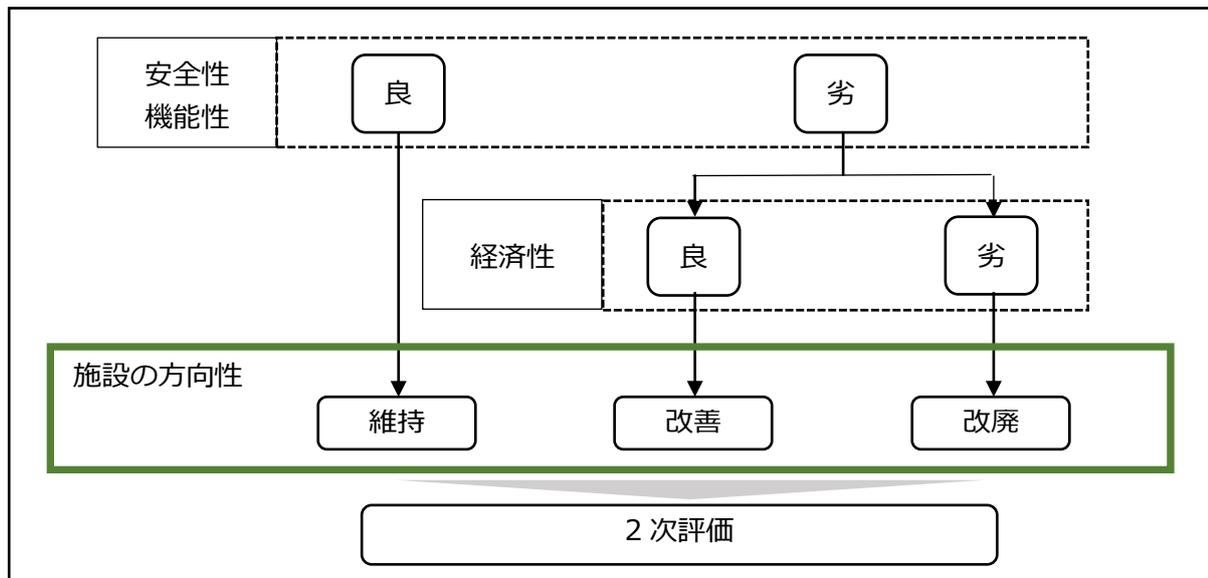


第3章 個別施設の方向性に関する検討

3.1 施設の方向性の検討（1次評価）

(1) 施設の方向性・整備手法の検討

以下のフローに沿って、施設ごとに整備手法の方向性の検討を行います。



出典：スポーツ施設のストック適正化ガイドライン

図 整備手法の方向性の検討フロー

(2) 評価の基準

安全性・機能性、経済性の評価基準を以下に示します。なお、評価基準は「ガイドライン」に掲載されている評価基準を参考に作成しています。

表 評価基準

検討の視点	項目	評価	評価基準
施設の方向性	安全性 機能性	良	● 劣化度調査結果の緊急度ランクが「低」のもの
		劣	● 劣化度調査結果の緊急度ランクが「中」又は「高」のもの
	経済性	良	● 改善コスト、維持管理コストの発生が標準よりも少ない。 ● 利用者数が一定程度見込め、収入があり、今後も施設利用が見込める。 ● 維持管理コストが多く、収入も少ない施設であるが、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がある。
		劣	● 改善コスト及び維持管理コストが多く、収入も標準よりも少ない施設で、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がない。 ● 相対的に著しく状況が悪い。

(3) 評価結果

それぞれの施設の方向性は、総合体育館、岩井球場、岩井テニスコート(メイン)、岩井テニスコート(サブ)、猿島体育館、猿島武道館、猿島球場(B面)、生子運動公園、沓掛球場が「改善」、宝堀運動公園(グラウンド A)、宝堀運動公園(グラウンド B)、馬立運動公園、猿島球場(A面)、内野山運動公園が「維持」となりました。

表 評価結果

施設名称	施設種別	安全性 機能性	経済性	施設の 方向性
総合体育館	体育館	劣	良	改善
岩井球場	野球場	劣	良	改善
岩井テニスコート(メイン)	庭球場	劣	良	改善
岩井テニスコート(サブ)	庭球場	劣	良	改善
宝堀運動公園 (グラウンド A)	野球場	良	良	維持
宝堀運動公園 (グラウンド B)	野球場	良	良	維持
馬立運動公園	ソフトボール 球場	良	劣	維持
猿島体育館	体育館	劣	良	改善
猿島武道館	武道場	劣	良	改善
猿島球場(A面)	野球場	良	良	維持
猿島球場(B面)	野球場	劣	良	改善
生子運動公園	野球場・サ カ場	劣	良	改善
	庭球場	劣	良	改善
内野山運動公園	野球場	良	劣	維持
沓掛球場	野球場	劣	良	改善

3.2 施設に関する情報の整理

(1) 環境に関する情報

以下に、2次評価に必要となる各施設の環境に関する情報を整理します。

表 施設の環境に関する情報

No.	施設名称	施設種別	利用者数 R2年度	整備目的 ¹⁾	開催可能な大会基準				防災計画上の 位置付け ²⁾
					全国 大会	地方 大会	中高の 大会	左記 以外	
1	総合体育館	体育館	10,583	○	○	○	○	-	◎
		卓球場	4,721	-	-	-	-	○	
		武道場	3,657	-	-	-	-	○	
		トレーニング室	2,640	-	-	-	-	○	
2	岩井球場	野球場	2,188	○	○	○	○	-	◎
3	岩井コート	庭球場	5,920	○	-	○	○	-	-
4	宝堀運動公園	野球場	1,605	○	-	○	○	-	-
5	馬立運動公園	ソフトボール球場	1,360	-	-	-	-	○	○
6	猿島体育館	体育館	6,821	○	-	○	○	-	◎
7	猿島武道館	武道場	5,566	-	-	-	○	-	◎
8	猿島球場	野球場	4,131	○	-	○	○	-	○
9	生子運動公園	野球場		-	-	-	-	○	○
		サッカー場	1,114	○	-	○	○	-	
		庭球場	756	-	-	-	-	○	
10	内野山運動公園	野球場	759	-	-	-	-	○	○
11	沓掛球場	野球場	875	-	-	-	-	○	○

1) 「○」一定規模以上の大会等を開催する施設、「-」地域住民が日頃の運動のために利用する施設

2) 「◎」避難所及び避難場所、「○」避難場所

(2) 分布状況

各施設の分布状況の特徴を示します。

表 施設の分布状況の特徴 (P3「対象施設の分布図」参照)

施設種別	分布状況
野球場	本市には、市の野球場が6か所あり、猿島球場と生子運動公園は近接しています。
武道場	本市には、市の武道場が2か所あり、それぞれ離れたところにあります。
卓球場	本市には、市の卓球場は1か所あります。
体育館	本市には、市の体育館が2か所あり、それぞれ離れたところにあります。
トレーニング室	本市には、市のトレーニング室は1か所あります。
庭球場	本市には、市の庭球場は2か所あり、それぞれ離れたところにあります。
ソフトボール球場	本市には、市のソフトボール球場は1か所あります。
サッカー場	本市には、市のサッカー場は1か所あります。

3.3 施設の基本方針の検討（2次評価）

（1）基本方針の概要

基本方針の概要を以下に示します。基本方針としては、「機能維持」「総量コントロール」「施設不足の解消」があります。

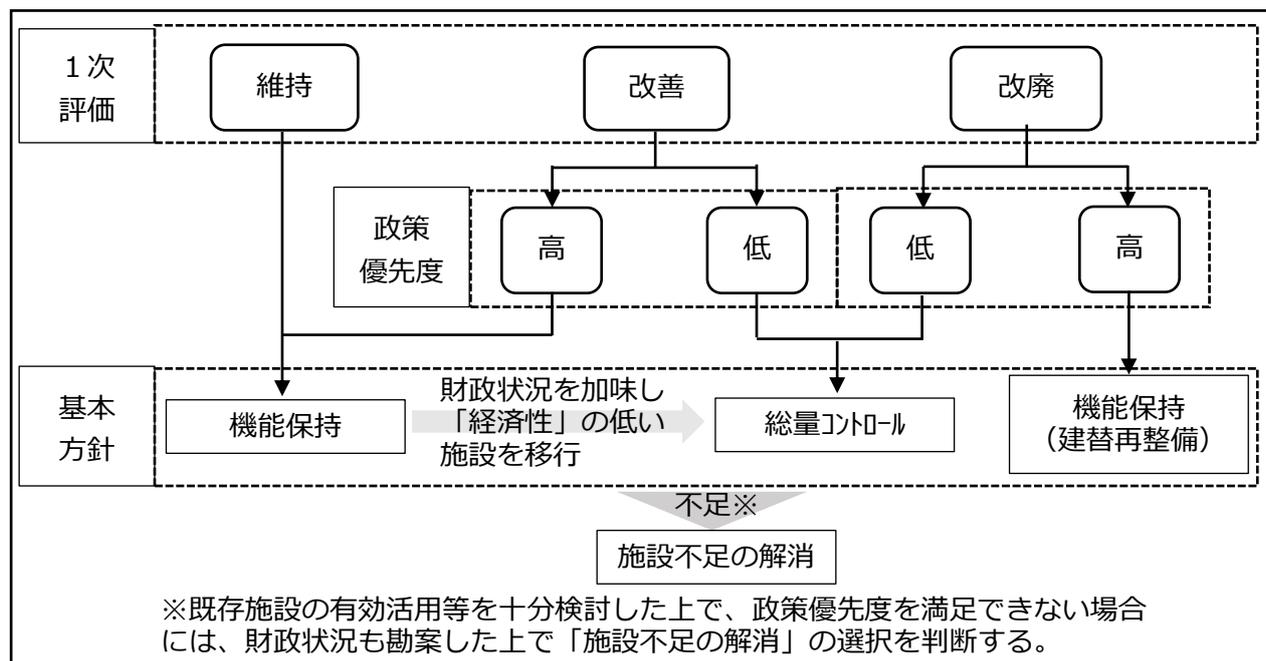
表 基本方針の概要

基本方針	内容
（スポーツ施設としての） 機能保持	現在の施設の機能を保持する。老朽化やそれに伴う維持管理費の増加に対応できるよう、計画的な対応方針を施設ごとに検討する。老朽化が激しいものについては、建替再整備の時期や方法について検討する。
総量コントロール	将来的に維持管理し続けることができない施設について、廃止や転用の時期及び方法について検討する。
施設不足の解消	スポーツ施設が不足している状態である場合、利用可能なスポーツ施設を増やすことを目指す。

出典：スポーツ施設のストック適正化ガイドライン

（2）基本方針の検討方法

以下のフローに基づいて、各施設の基本方針に関する検討（2次評価）を行います。



出典：スポーツ施設のストック適正化ガイドライン

図 施設の基本方針の検討（2次評価）のフロー

(3) 政策優先度の検討

基本方針の検討に際し、「政策優先度」を検討します。なお、評価基準は、「ガイドライン」に掲載されている評価基準を参考に作成しています。

表 政策優先度の評価基準

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none">・施設利用者が多い（令和2年の利用者数が1,500人以上）。・圏域にそのスポーツの実施場所がなく、希少性が高い。・地域防災計画において、災害拠点や避難施設として指定されており、代替できる施設がない。	高
<ul style="list-style-type: none">・施設利用者が少ない（令和2年の利用者が1,500人未満）。・周辺の人口動態等を踏まえると、運営や施設機能の向上を図っても利用状況の改善の見込みがない。・地域防災計画において、災害拠点や避難施設として指定されていない、又は指定されているが、近隣に代替できる施設がある。	低

(4) 検討結果

宝堀運動公園（グラウンドA）、宝堀運動公園（グラウンドB）、馬立運動公園、猿島球場（A面）、内野山運動公園については、1次評価が「維持」のため「機能保持」としました。

総合体育館、岩井球場、岩井テニスコート（メイン）、岩井テニスコート（サブ）、猿島体育館、猿島武道館、猿島球場（B面）については、1次評価が「改善」のため「政策優先度」を検討した結果、施設利用者数が比較的多く、避難所又は避難場所に指定されていることから「機能保持」としました。また、生子運動公園については、施設利用者数が比較的少ない状況ですが、サッカー場は市内に1施設、庭球場は2施設のみで希少性が高いと判断し、「機能保持」としました。沓掛球場については、近隣の猿島幼稚園の避難場所となっており、近隣に代替できる施設が見当たらないため「機能保持」としました。

以上の検討の結果、全ての施設において「機能保持」となりました。

表 2 次評価の検討結果

施設名称	施設種別	1次評価	2次評価	
		施設の方向性	政策優先度	スポーツ施設の基本方針
総合体育館	体育館	改善	高	機能保持
岩井球場	野球場	改善	高	機能保持
岩井テニスコート(メイン)	庭球場	改善	高	機能保持
岩井テニスコート(サブ)	庭球場	改善	高	機能保持
宝堀運動公園(グラウンド A)	野球場	維持	—	機能保持
宝堀運動公園(グラウンド B)	野球場	維持	—	機能保持
馬立運動公園	ソフトボール 球場	維持	—	機能保持
猿島体育館	体育館	改善	高	機能保持
猿島武道館	武道場	改善	高	機能保持
猿島球場(A面)	野球場	維持	—	機能保持
猿島球場(B面)	野球場	改善	高	機能保持
生子運動公園	野球場・サッカー場	改善	高	機能保持
	庭球場	改善		機能保持
内野山運動公園	野球場	維持	—	機能保持
沓掛球場	野球場	改善	高	機能保持

第4章 長寿命化計画の検討と策定

4.1 基本方針の設定

長寿命化のための基本方針と、日常的な維持管理に関する基本方針を設定します。

(1) 長寿命化のための基本方針

① 維持管理レベルの設定

施設をできる限り長く使うためには、適切な維持管理を行っていくことが重要です。そのため、従来のような劣化・破損等の大規模な不具合が生じた後に修繕等を行う「事後保全」型の管理から、計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型の管理へと転換を図ります。

「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させることができ、施設の不具合による被害のリスクを緩和することや、改修・日常的な維持管理の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げる事が可能となります。

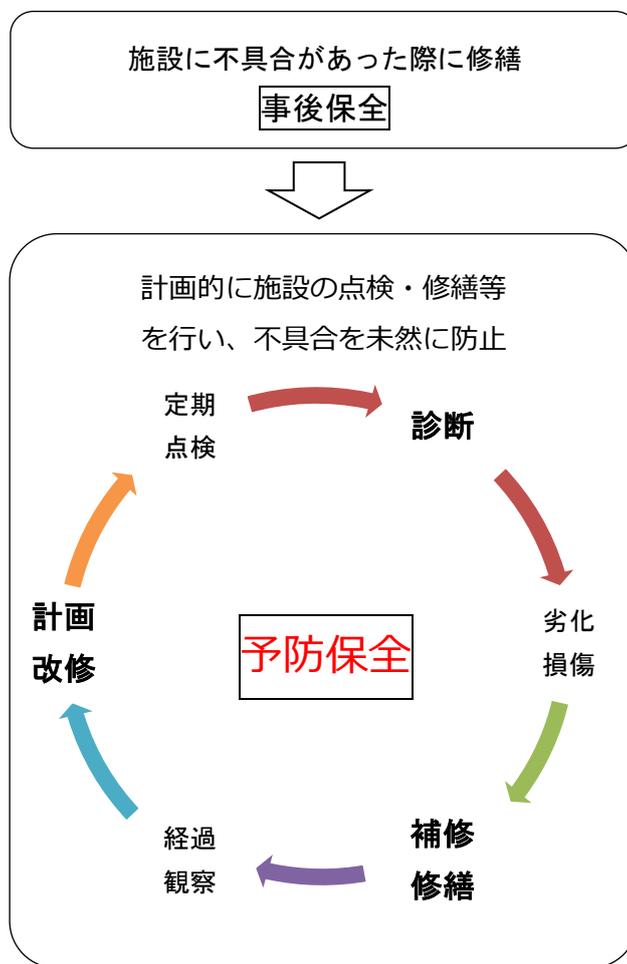


図 予防保全のサイクル

② 躯体目標耐用年数

一般的に鉄筋コンクリート造の建物では、コンクリートのひび割れ・欠けや鉄筋の腐食等の劣化が生じた場合でも適切な時期（おおむね築後 45 年程度まで）に劣化原因を調査し、劣化の程度と原因に応じて適切な補修・改修を行うことで耐用年数を延ばすことができます。

鉄筋コンクリート造の建物の場合、目標耐用年数として普通品質では 50～80 年、高品質の場合では 80～120 年とされています。

本計画においては、「建築物の耐久計画に関する考え方」（社団法人日本建築学会）が提案する算定式や施設使用の限界年数の考え方と適切な維持管理が実施されることを前提に、体育施設の目標耐用年数を次のように設定します。

▼鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造に関しては、耐久性の高低における高品質（Y100）と普通品質（Y60）の間のおおむね中間値を採用し 80 年とします。

▼鉄骨造に関しては、上記と同様の考え方にに基づき 80 年とします。

表 施設の目標耐用年数

鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造
80 年	80 年

参考：建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造		
	高品質 の場合	普通の品質の 場合	重量鉄骨		軽量鉄骨
			高品質 の場合	普通の品質の 場合	軽量鉄骨
学校・官庁	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上
住宅・事務所・病院	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上
店舗・旅館・ホテル	Y100 以上	Y60 以上	Y100 以上	Y60 以上	Y40 以上
工場	Y40 以上	Y25 以上	Y40 以上	Y25 以上	Y25 以上

※表における「高品質」「普通の品質」の区別は、耐久性の高低を示す

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）



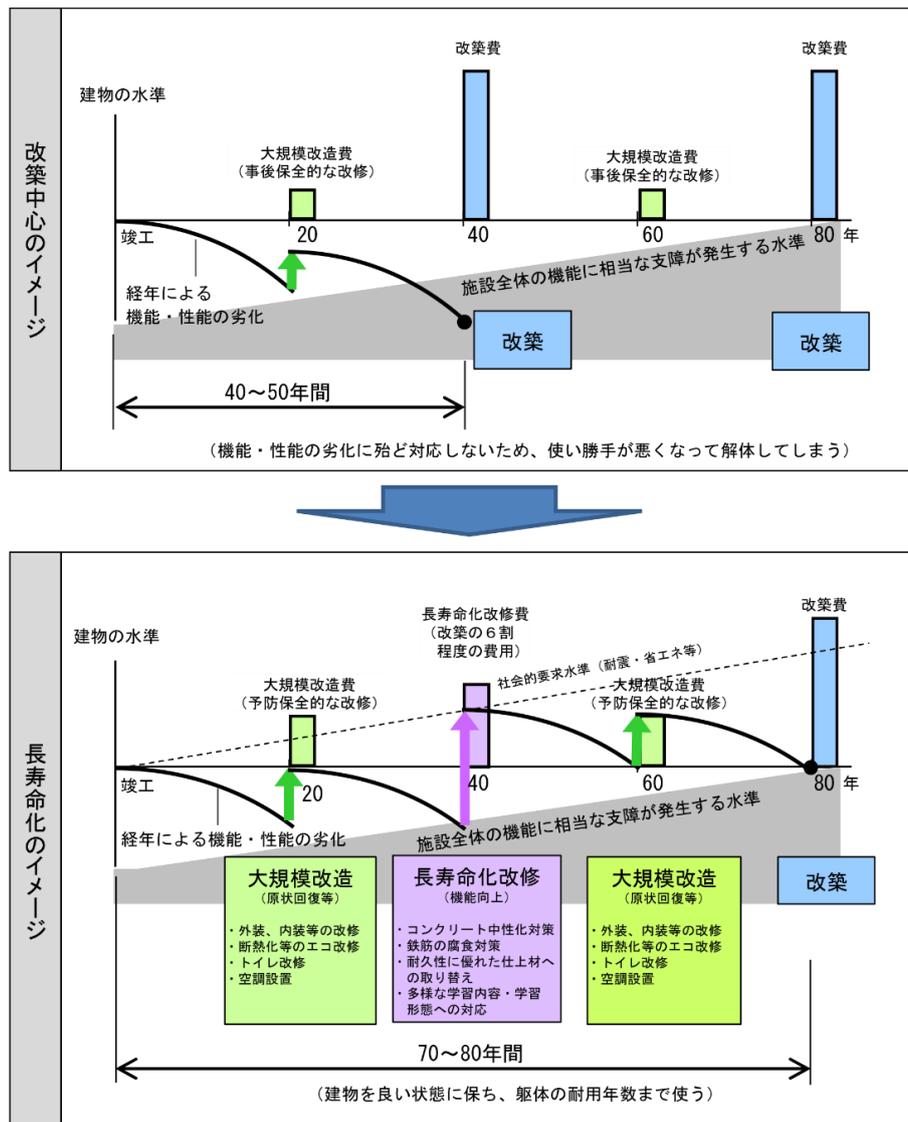
参考：目標耐用年数の級の区分の例

級	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y150	150 年	120 年～200 年	120 年
Y100	100 年	80 年～120 年	80 年
Y60	60 年	50 年～80 年	50 年
Y40	40 年	30 年～50 年	30 年
Y25	25 年	20 年～30 年	20 年

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

③ 更新周期の設定

建築物は、経年により劣化するとともに、耐震性能や省エネ性能等の社会的要求の高まりへの対応も求められます。そこで、従来では建物が建築されてからおおむね 20 年後に改修、40 年後に改築を行っていたものを、建築物が目標耐用年数（80 年）まで維持できるように建築されてからおおむね 20 年で大規模改修、更に躯体の目標耐用年数の中間年（40 年）で新築時の整備水準を超える長寿命化改修を行うことで、建物の長寿命化を図ります。



出典：文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定の手引と解説（平成 27 年 4 月）

図表 改築中心から長寿命化型への転換のイメージ

(2) 日常的な維持管理に関する基本方針

体育施設は、市民の健康増進のためのものであるとともに、災害時には避難所としての役割を担っており、日常はもとより災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められます。

しかし、経年劣化等により、突然外壁タイルや天井板が落下するなどの事故が発生する可能性があり、重大な被害のリスクを事前に低減しておくことが重要です。

そのため、対症療法的な事後保全を行うだけでなく、劣化の状況を予測し適切な時期に更新や修繕を行うなど、被害の発生前に対処して、施設の機能を常に正常な状態に維持する「予防保全」を推進する必要があります。

「予防保全」を的確に推進するためには、重要な部位又は設備について、適切な時期に適切な点検・診断を行い、発見された不具合については速やかに補修していくことが重要です。そのためには、日常点検や定期点検による管理を重視し、これらの点検を施設管理の基本サイクルに入れていく必要があります。

【点検対象となる建物の部位（例）】

- ・屋上・屋根
- ・外壁
- ・外部建具（窓、扉等）
- ・受変電設備
- ・非常用発電設備
- ・空調設備（エアコン、ホィール）
- ・換気設備（ダクト、送風機）
- ・消防用設備（自動火災報知設備、屋内消火栓設備、消火器、誘導灯等）
- ・給排水衛生設備（屋内給水設備、ポンプ類等） 等

(3) 実施体制

これまで実施してきた専門業者による定期的な点検を継続するとともに、職員による日常的な点検を更に充実させるものとします。

表 施設・設備点検の実施体制

点検・調査	調査者	実施時期	実施内容
日常的な点検	職員	月に1回程度	目視点検
定期点検 (法定点検)	専門業者	定められた期間ごと	建築基準法第12条点検 消防設備点検

表 主な日常的な点検内容（例）

点検部位	症状	危険性	留意点
天井	<ul style="list-style-type: none"> ●天井ボードが外れ、落ちかけている ●天井吊りのテレビモニターがクラック ●天井にシミができた 	<ul style="list-style-type: none"> ●剥がれかかった天井ボード等は落下の危険性あり 	<ul style="list-style-type: none"> ●天井のシミは漏水などが考えられるため、専門家による調査が必要
内壁	<ul style="list-style-type: none"> ●壁珞外に亀裂が入った ●ボードが割れた ●トルなどでタイルが割れた、剥がれた 	<ul style="list-style-type: none"> ●珞外等が欠け落ちてくる可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> ●木製扉等のささくれ、タイル等の突起物はタイルの原因となるため、処置が必要
床	<ul style="list-style-type: none"> ●シートが剥がれた、摩耗した ●タイルが剥がれた、割れた ●階段の滑り止め金具が外れた 	<ul style="list-style-type: none"> ●床の損傷は転倒など、タイルの原因になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●放置すると損傷の範囲が広がる可能性があるため、応急処置が必要 ●床は濡れたままにすると剥がれ、割れ等の原因になるため、その都度拭き取ることが大切
外壁	<ul style="list-style-type: none"> ●外壁、庇に亀裂が入った ●外壁の珞外が落ちてきた ●鉄筋が露出している 	<ul style="list-style-type: none"> ●珞外が落下する危険があり、放置すると損傷の範囲が拡大する可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が近づかないようバリケードを設置する等の措置が必要 ●専門家による調査が必要
屋外遊具施設等	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外の鉄製の遊具施設にサビがでている ●国旗掲揚ポールの固定部分、根元が腐食している ●鉄棒等にクラックがある 	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄の腐食は進行が早く、突然倒壊する可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> ●遊具施設は直接雨風にさらされ、乱暴に扱われることがあるため、クラックがないか、ボルトが緩んでいないか等の点検が必要 ●鉄部の腐食は、表面の塗装で分かりにくい場合があるため、専門家による定期的な点検が必要
屋外階段	<ul style="list-style-type: none"> ●階段手すりがクラック ●鉄骨階段にタビが発生した 	<ul style="list-style-type: none"> ●手すり踏み板などの痛みが著しい場合、緊急時に避難する際、転倒するなど支障となる 	<ul style="list-style-type: none"> ●手すりのタビ、クラックの点検が必要 ●タビが進行しないうちに塗装の塗り替えを行うことが必要

参考：安全で快適な学校施設を維持するために/文部科学省

4.2 体育施設の長寿命化対策の検討

(1) 屋内体育施設

① 保全方針の策定の考え方

先に示した目標耐用年数及び更新周期に基づき、屋内体育施設について、従来型（事後保全型管理）と長寿命化型（予防保全型管理）の今後の維持・更新コストについてシミュレーションを行い、どちらが望ましい保全方針であるか検討します。なお、シミュレーションは、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属ソフト」を使用することとします。

② 前提条件

以下の条件の下、シミュレーション分析を行います。

●工事周期及び単価

工種	周期		単価
	従来型	長寿命化型	体育館、スポーツ・レクリエーション系施設※
改築	40年	80年	360,000 円/m ²
長寿命化改修	-	40年	216,000 円/m ²
大規模改造	20年	20年	79,200 円/m ²
部位修繕	屋根・屋上	-	10,800 円/m ²
	外壁	-	12,600 円/m ²
	内部仕上	-	20,160 円/m ²
	電気設備	-	17,280 円/m ²
	機械設備	-	6,120 円/m ²

改築単価は、公共施設更新費用試算ソフトの算定条件を参考に設定

使用単価は、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属ソフトの設定値

※武道館を含む。

- 改築 : 工事期間 2 年
実施年数より古い建物（築 40 年経過）の改築を今後 10 年以内に実施
- 長寿命化改修 : 工事期間 2 年
実施年数より古い建物（築 40 年経過）の改修を今後 10 年以内に実施
- 大規模改造 : 工事期間 1 年
ただし、改築、長寿命化改修の前後 10 年間に重なる場合は実施しない
- 部位修繕 : 部位で D 評価のものは今後 5 年以内、C 評価のものは 10 年以内に実施
ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後 10 年以内に実施する場合を除く。
A 評価の部位がある場合、今後 10 年以内の長寿命化改修から A 評価の部位修繕相当額を差し引く。

③ 今後の維持・更新コストの比較（ライフサイクルコスト[※]の算出）

シミュレーション結果を見ると、総合体育館、岩井球場、猿島体育館及び猿島武道館の全ての施設で長寿命化型の方が今後の維持・更新コストが安くなる結果となりました。

表 今後の維持・更新コストの比較結果

(単位：千円)

施設名	今後の維持・更新コスト（35年間）		採用方針
	従来型	長寿命化型	
総合体育館	1,876,700	394,920	長寿命化型
岩井球場	658,800	473,800	長寿命化型
猿島体育館	918,360	165,600	長寿命化型
猿島武道館	310,070	226,410	長寿命化型

(2) 屋外施設

① ライフサイクルコスト算定の考え方

●処分制限期間の設定

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）参考資料集」の「主な公園施設と処分制限期間の採用値（参考）」に準じて設定します。

●使用見込み期間の設定

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】」の「使用見込み期間の設定例」に準じて設定します。

表 使用見込み期間の設定

	事後保全型管理における使用見込み期間	予防保全型管理における使用見込み期間
処分制限期間が20年未満の施設	処分制限期間の2倍	事後保全の使用見込み期間の1.2倍と設定
処分制限期間が20年以上40年未満の施設	処分制限期間の1.5倍	
処分制限期間が40年以上の施設	処分制限期間の1倍	

●補修周期

使用見込み期間の中間年頃に1回実施で設定します。

●健全度調査周期

5年ごとに実施で設定します。

●健全度調査費

「都市公園安全・関心対策に関する調査・計画 標準業務報酬積算ガイドライン（平成24年10月一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会）」に準じて設定します。

※ 計画・設計・施工から、その施設の維持管理、最終的な解体・廃棄までに要する費用の総額。

●更新費

市計画や市場価格（建設物価、積算ポケット手帳等）等を参考に設定します。

●補修費

・補修費＝更新費×補修費率（0.2）

（メーカーヒアリングや実績等を総合的に勘案した結果、おおむね 2 割程度となると想定される。）

●ライフサイクルコスト算出方法

1.長寿命化対策をしない場合（事後保全）

・「維持保全費」＋「更新費」

2.長寿命化対策をした場合（予防保全）

・「維持保全費」＋「健全度調査費」＋「補修費」＋「更新費」

●単年度当りのライフサイクルコストの算出

1.長寿命化対策をしない場合（事後保全）

・「長寿命化対策をしない場合の総費用」／「長寿命化対策をしない場合の使用見込み期間」

2.長寿命化対策をした場合（予防保全）

・「長寿命化対策をした場合の総費用」／「長寿命化対策をした場合の使用見込み期間」

② 今後の維持・更新コストの比較結果（ライフサイクルコストの算出）

以下に、算出したライフサイクルコスト及び採用する保全方針を示します。

施設ごとに従来型（事後保全型管理）と長寿命化型（予防保全型管理）のライフサイクルコストを比較した結果、岩井球場の照明灯とスコアボードでは長寿命化型の方が安くなりましたが、それ以外の施設では従来型の方が安くなる結果となりました。

なお、グラウンドについては、1年～3年ごとに定期的に整備する方針のため、長寿命化型（予防保全型管理）としています。

表 今後の維持・更新コストの比較結果

施設名	施設種別	処分制限期間	使用見込期間 (事後保全)	使用見込期間 (予防保全)	補修 周期	管理類型	ライフカ ルコ スト (千円)	単年度 当り (千円)	採用 方針
岩井球場	グラウンド				1	予防保全	84,000	2,400	長寿命化型
	照明灯	18		43	25	予防保全	477,267	11,099	長寿命化型
			36			事後保全	399,960	11,110	
	スコアボード	45		54	25	予防保全	341,049	6,315	長寿命化型
			45			事後保全	284,658	6,325	
	防球ネット	15		36	20	予防保全	9,841	273	
			30			事後保全	8,176	272	従来型
	バックネット	15		36	20	予防保全	2,132	59	
			30			事後保全	1,752	58	従来型
	ネットフェンス (H2.0m)	15		36	20	予防保全	4,200	116	
30					事後保全	3,450	115	従来型	
ネットフェンス (H1.2m)	15		36	20	予防保全	14,460	401		
		30			事後保全	12,000	400	従来型	
岩井テニスコート (メイン)	コート舗装 (サブコ ート含む)	10		24	15	予防保全	50,340	2,097.5	
			20			事後保全	41,943	2,097.1	従来型
	防球ネット	15		36	20	予防保全	6,030	167	
			30			事後保全	5,000	166	従来型

施設名	施設種別	処分制限 期間	使用見込期間 (事後保全)	使用見込期間 (予防保全)	補修 周期	管理類型	ライフカ スト (千円)	単年度 当り (千円)	採用 方針
岩井コート (77°)	照明灯	18		43	25	予防保全	44,261	1,029	
				36		事後保全	36,610	1,016	従来型
	防球ネット	15		36	20	予防保全	8,871	246	
				30		事後保全	7,368	245	従来型
	壁打ちコート擁壁	50		60	30	予防保全	2,100	35	
				50		事後保全	1,725	34	従来型
	壁打ちコート舗装	10		24	15	予防保全	1,629	67.8	
				20		事後保全	1,350	67.5	従来型
宝塚運動公園 (グラウンド A)	グラウンド				3	予防保全	11,000	314	長寿命化型
	バックネット	15		36	20	予防保全	4,215	117	
				30		事後保全	3,500	116	従来型
	ネットフェンス (グラウンド B含む)	15		36	20	予防保全	18,060	501	
				30		事後保全	15,000	500	従来型
	スチール製ト化	15		36	20	予防保全	2,460	68	
				30		事後保全	2,000	66	従来型
	スチール製倉庫	15		36	20	予防保全	1,860	51	
				30		事後保全	1,500	50	従来型
	ダッグアウト	15		36	20	予防保全	3,630	100.8	
				30		事後保全	3,000	100.0	従来型
	スコアボード	15		36	20	予防保全	855	23.7	
			30		事後保全	700	23.3	従来型	
案内看板	15		36	20	予防保全	855	23.7		
			30		事後保全	700	23.3	従来型	
宝塚運動公園 (グラウンド B)	グラウンド				3	予防保全	11,000	314	長寿命化型
	バックネット	15		36	20	予防保全	4,215	117	
				30		事後保全	3,500	116	従来型
	ダッグアウト	15		36	20	予防保全	3,630	100.8	
				30		事後保全	3,000	100.0	従来型
スコアボード	15		36	20	予防保全	855	23.7		
			30		事後保全	700	23.3	従来型	
馬立運動公園	グラウンド				3	予防保全	11,000	314	長寿命化型
	防球ネット	15		36	20	予防保全	2,658	73.8	
				30		事後保全	2,190	73.0	従来型
	バックネット	15		36	20	予防保全	3,375	93.7	
				30		事後保全	2,800	93.3	従来型
	ネットフェンス	15		36	20	予防保全	4,860	135	
				30		事後保全	4,000	133	従来型
	スチール製ト化	15		36	20	予防保全	2,460	68	
				30		事後保全	2,000	66	従来型
	スチール製倉庫	15		36	20	予防保全	1,260	35	
				30		事後保全	1,000	33	従来型
	東屋	20		36	20	予防保全	6,060	168	
				30		事後保全	5,000	166	従来型
	ダッグアウト	15		36	20	予防保全	3,630	100.8	
				30		事後保全	3,000	100.0	従来型
スコアボード	15		36	20	予防保全	855	23.7		
			30		事後保全	700	23.3	従来型	
平板舗装	15		36	20	予防保全	5,430	150.8		
			30		事後保全	4,500	150.0	従来型	
分電盤	15		36	20	予防保全	835	23		
			30		事後保全	500	16	従来型	
猿島球場 (A面)	グラウンド				3	予防保全	26,400	754	
	照明灯 (B面 含む)	18		43	25	予防保全	669,855	15,578	
				36		事後保全	559,526	15,542	従来型
	バックネット	15		36	20	予防保全	4,215	117	
				30		事後保全	3,500	116	従来型
	ネットフェンス (H1.2m)	15		36	20	予防保全	5,460	151	
				30		事後保全	4,500	150	従来型
	ネットフェンス (H3.0m)	15		36	20	予防保全	6,360	176	
			30		事後保全	5,250	175	従来型	
RC造本部席	47		56	30	予防保全	12,108	216		
			47		事後保全	10,000	212	従来型	

施設名	施設種別	処分制限 期間	使用見込期間 (事後保全)	使用見込期間 (予防保全)	補修 周期	管理類型	ライフサイクル コスト (千円)	単年度 当り (千円)	採用 方針
猿島球場 (A面)	ダッグアウト	15		36	20	予防保全	3,630	100.8	
			30			事後保全	3,000	100.0	従来型
	スコアボード	15		36	20	予防保全	855	23.7	
			30			事後保全	700	23.3	従来型
猿島球場 (B面)	グラウンド				3	予防保全	26,400	754	長寿命化型
	防球ネット	15		36	20	予防保全	10,542	292.8	
			30			事後保全	8,760	292.0	従来型
	バックネット	15		36	20	予防保全	4,215	117	
			30			事後保全	3,500	116	従来型
	ネットフェンス	15		36	20	予防保全	5,460	151	
			30			事後保全	4,500	150	従来型
	ブロッコ造トビ	41		49	25	予防保全	6,096	124	
			41			事後保全	5,000	121	従来型
	木造倉庫	15		36	20	予防保全	3,660	101	
			30			事後保全	3,000	100	従来型
	スチール製倉庫	15		36	20	予防保全	2,460	68	
			30			事後保全	2,000	66	従来型
	ダッグアウト	15		36	20	予防保全	3,630	100.8	
30					事後保全	3,000	100.0	従来型	
スコアボード	15		36	20	予防保全	855	23.7		
		30			事後保全	700	23.3	従来型	
キーボード	15		36	20	予防保全	2,635	73		
		30			事後保全	2,000	66	従来型	
生子運動公園 (野球・サッカー場)	グラウンド				3	予防保全	11,000	314	長寿命化型
	防球ネット	15		36	20	予防保全	10,542	292.8	
			30			事後保全	8,760	292.0	従来型
	バックネット	15		36	20	予防保全	4,215	117	
			30			事後保全	3,500	116	従来型
	ネットフェンス	15		36	20	予防保全	9,060	251	
			30			事後保全	7,500	250	従来型
	ブロッコ造トビ	41		49	25	予防保全	3,696	75	
			41			事後保全	3,000	73	従来型
	ブロッコ造倉庫 1	41		49	25	予防保全	3,696	75	
			41			事後保全	3,000	73	従来型
	ブロッコ造倉庫 2	41		49	25	予防保全	3,696	75	
			41			事後保全	3,000	73	従来型
	スチール製倉庫	15		36	20	予防保全	2,460	68	
			30			事後保全	2,000	66	従来型
	本部席	15		36	20	予防保全	1,815	50.4	
			30			事後保全	1,500	50.0	従来型
	ダッグアウト	15		36	20	予防保全	3,630	100.8	
30					事後保全	3,000	100.0	従来型	
放送設備	15		36	20	予防保全	1,435	39		
		30			事後保全	1,000	33	従来型	
パーゴラ	19		45	25	予防保全	2,244	49		
		38			事後保全	1,800	47	従来型	
遊具	15		36	20	予防保全	3,660	101		
		30			事後保全	3,000	100	従来型	
生子運動公園 (テニスコート)	コート舗装	10		24	15	予防保全	24,009	1,000.3	
			20			事後保全	20,000	1,000.0	従来型
	照明灯	18		43	25	予防保全	23,369	543	
			36			事後保全	19,200	533	従来型
	防球ネット	15		36	20	予防保全	6,661	185	
			30			事後保全	5,526	184	従来型

施設名	施設種別	処分制限 期間	使用見込期間 (事後保全)	使用見込期間 (予防保全)	補修 周期	管理類型	ライフサイクル コスト (千円)	単年度 当り (千円)	採用 方針
内野山運動 公園	グラウンド				3	予防保全	11,000	314	長寿命化型
	防球ネット	15		36	20	予防保全	7,914	219.8	
			30			事後保全	6,570	219.0	従来型
	ネットフェンス	15		36	20	予防保全	9,060	251	
			30			事後保全	7,500	250	従来型
	ブロック造トイレ	41		49	25	予防保全	6,096	124	
			41			事後保全	5,000	121	従来型
	スチール製倉庫 1	15		36	20	予防保全	2,460	68	
			30			事後保全	2,000	66	従来型
	スチール製倉庫 2	15		36	20	予防保全	2,460	68	
			30			事後保全	2,000	66	従来型
	東屋	20		36	20	予防保全	6,060	168	
			30			事後保全	5,000	166	従来型
	スコアボード	15		36	20	予防保全	435	12	
			30			事後保全	350	11	従来型
遊具	15		36	20	予防保全	3,660	101		
		30			事後保全	3,000	100	従来型	
シールド	19		45	25	予防保全	3,684	81		
		38			事後保全	3,000	78	従来型	
パーゴラ	19		45	25	予防保全	3,684	81		
		38			事後保全	3,000	78	従来型	
駐車場舗装	10		24	15	予防保全	8,109	337.8		
		20			事後保全	6,750	337.5	従来型	
分電盤	15		36	20	予防保全	835	23		
		30			事後保全	500	16	従来型	
沓掛球場	グラウンド				3	予防保全	11,000	314	長寿命化型
	防球ネット	15		36	20	予防保全	11,250	312	
			30			事後保全	9,350	311	従来型
	バックネット	15		36	20	予防保全	4,215	117	
			30			事後保全	3,500	116	従来型
	ネットフェンス	15		36	20	予防保全	6,060	168	
			30			事後保全	5,000	166	従来型
	ブロック造トイレ	41		49	25	予防保全	2,496	50	
			41			事後保全	2,000	48	従来型
	スチール製倉庫	15		36	20	予防保全	1,860	51	
30					事後保全	1,500	50	従来型	
ダッグアウト	15		36	20	予防保全	3,630	100.8		
		30			事後保全	3,000	100.0	従来型	
スコアボード	15		36	20	予防保全	855	23.7		
		30			事後保全	700	23.3	従来型	

第5章 体育施設個別計画

以下に施設ごとの整備方針、整備手法、今後5か年の整備計画を示します。

表 施設別の整備方針・整備手法・整備計画

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
総合体育館	体育館	機能改善	建築物	長寿命化型	屋外施設	-
今後5か年の整備計画（単位：千円）						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
建築物	非常用照明等改修工事	実施設計 6,050	改修工事 49,100			
	更衣室給湯設備交換工事		1,400			

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
岩井球場	野球場	機能改善	建築物	長寿命化型	屋外施設	(照明灯・スコアボード) 長寿命化型 (上記以外) 従来型
今後5か年の整備計画（単位：千円）						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
建築物	長寿命化改修工事		非構造部材調査 6,000	実施設計 25,000	改修工事 324,000	
屋外 施設	グラウンド整備工事	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	照明灯更新工事		地質調査 8,200	実施設計 6,900	更新工事 384,900	
	スコアボード更新工事			実施設計 4,900	更新工事 279,900	
	バックネット更新工事				1,800	
	ネットフェンス更新工事				15,500	

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
岩井テニスコート (メイン)	庭球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画 (単位:千円)						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	コート舗装面改修工事 (サブ含む)		42,000			
	防球ネット更新工事					5,000

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
岩井テニスコート (サブ)	庭球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画 (単位:千円)						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	照明灯更新工事		実施設計 2,400	更新工事 36,700		
	防球ネット更新工事					7,400
	壁打ちコート舗装面改修 工事					1,400

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
宝堀運動公園 (グラウンド A)	野球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画 (単位:千円)						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	グラウンド整備工事	1,000			1,000	

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
宝堀運動公園 (グラウンド B)	野球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画 (単位:千円)						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	グラウンド整備工事	1,000			1,000	

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
馬立運動公園	リトルリーグ球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画（単位：千円）						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外施設	グラウンド整備工事			1,000		

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
猿島体育館	体育館	機能改善	建築物	長寿命化型	屋外施設	-
今後5か年の整備計画（単位：千円）						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
建築物	特になし					

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
猿島武道館	武道場	機能改善	建築物	長寿命化型	屋外施設	-
今後5か年の整備計画（単位：千円）						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
建築物	長寿命化改修工事		非構造部材調査 3,000	実施設計 15,000	改修工事 152,500	

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
猿島球場 (A面)	野球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画（単位：千円）						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外施設	グラウンド整備工事	1,000			1,000	
	照明灯更新工事 (B面含む)		実施設計 9,600	更新工事 550,000		

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
猿島球場 (B面)	野球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画(単位:千円)						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	グラウンド整備工事	1,000			1,000	

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
生子運動公園	野球・サッカー 場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画(単位:千円)						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	グラウンド整備工事		1,000			1,000

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
生子運動公園	庭球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画(単位:千円)						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	コート舗装面改修工事					20,000

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
内野山運動公園	野球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画(単位:千円)						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	グラウンド整備工事			1,000		

施設名	施設種別	整備方針	整備手法			
沓掛球場	野球場	機能改善	建築物	-	屋外施設	従来型
今後5か年の整備計画（単位：千円）						
種別	整備内容	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)
屋外 施設	グラウンド整備工事			1,000		

坂東市体育施設長寿命化計画（個別施設）

令和4年3月 発行

発行者 坂東市教育委員会
〒306-0631 茨城県坂東市岩井 3086
電話 0297-35-1711
ホームページ <https://www.city.bando.lg.jp>